

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 保健体育課長 堀江 隆典 電話番号 0852-22-5722

事務事業の名称	スポーツ・レクリエーション推進事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	スポーツ・レクリエーション活動の楽しさを体験することにより、継続的なスポーツ活動への意欲を喚起する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の普及推進を図るため、広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場や体験する場を提供する。 ・健常者と障がい者が一緒にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ環境づくりを推進するために、地域スポーツ指導者やスポーツ・レクリエーション種目団体などに指導者養成研修やモデル事業を実施する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	島根県スポーツ・レクリエーション祭への参加人数（全体）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	スボレク広場（体験の場）の参加者数及び種目別大会（普及・振興の場）参加者数	目標値		5,000	5,000	
			実績値	4,431	6,555	7,355	5,526		
			達成率		131.10	147.10	110.60		%
指標名	島根県スポーツ・レクリエーション祭の中のスボレク広場（体験の場）への参加者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		1,500	1,500	1,500	1,500		人
式・定義	スボレク広場（体験の場）への参加者数	実績値	1,364	1,882	1,948	1,899			
		達成率		125.50	129.90	126.60		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	7,999	7,980
うち一般財源(千円)	4,899	4,880

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・スボレク広場や種目別大会が台風等の影響により中止になったこと等により、スボレク祭への参加人数が前年度に比べ減となった。
- ・スボレク祭では、障がいのある方の参加が年々増えてきている。（H25年:136名→H26年:163名）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・関係団体や関係機関と連携し、障がいのある方にも気軽に参加してもらえるよう工夫を進めてきた結果、レクリエーションフェスティバルを中心に障がいのある方の参加が増えてきた。
- ・健常者も障がい者も誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進するためのリーフレットを作成し、関係団体に配布することで、健常者と障がい者のスポーツ・レクリエーション活動による交流拡大を図ることができた。
- ・前年度、健常者と障がい者のスボレク活動連携モデル事業を実施したことがきっかけとなり、競技団体の自発的な活動につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - ・スボレク広場や種目別大会の開催が天候に左右される。
 - ・スボレク広場や種目別大会の開催数を増やすことができない。
 - ・障がいのある方のスボレク祭等への参加をさらに増やしていきたいが、受け入れる体制が十分でない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - ・天候の影響等による日程変更は、行事の兼ね合いや施設の確保等ができないため対応できていない。
 - ・県民のニーズが多様化し、開催数を増やすことまで求められていない。また、スボレク祭の運営スタッフを確保することが難しい。
 - ・大会開催団体や競技団体等が障がい者の支援についての知識やスキルが乏しい。
- ③原因を解消するための「課題」
 - ・天候の影響等で中止にならないように雨天時メニューを設定したりするなどの工夫が必要である。
 - ・ニーズにあったスボレク祭の検討とスボレク祭の必要性を感じる運営スタッフの確保及び理解促進が必要である。
 - ・不安なく運営できる障がい者の支援についての知識やスキルの研修の場を提供する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・スボレク祭について、関係団体や関係機関とより一層連携して、開催方法やメニューの工夫を検討していく。
- ・スポーツ推進委員等がスボレク祭の企画・運営に参画し、市町村における日常的なスポーツ・レクリエーション活動がより充実していくことを働きかける。
- ・スポーツ推進委員等の地域スポーツ指導者に対して、障がい者スポーツの理解の促進を図るほか、各種研修会を通じて指導者の知識やスキルを高める。
- ・健常者と障がい者が一緒にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができる事業や障がい者のスポーツ・レクリエーション活動に対する指導者等の拡大を図ることにより、健常者と障がい者が一緒にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ場を増やしていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）